学校番号	3017

令和８年度　工業科（産業創造系）

教科	工業	科目	デザイン史	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	デザイン史（東京電機大学出版局）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

作者の思想や感情、また人間の生活やそれを取り巻く自然や社会環境をも反映している造形文化の歴史を、資料や実物を例にあげながら、日本と西洋の両面からデザインの流れを学びます。また、得られた知識・技術はこれからの自身のデザイン活動の裏付けとしながら、新しい視野を広げ、独創性をもった製品や建築物、家具等のデザインができるように実戦的な演習を積み重ねて、デザイナーとしての考え方・表現方法を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
西洋および、日本における建築物や家具等の様式、絵画やポスター等における表現やトレンドについての知識を身につけるとともに、それらの表現技法や制作技法を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
身につけた知識・技術をもとに、考案したデザインの根拠やコンセプトを設定し、作品として表現することができる。また、そのデザインについて論理的に整理し、発表することができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な時代や文化のデザインの原点について興味を持ち、積極的に自らの表現に取り入れようとする探究的な創造活動に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	デザインスタイルの名称や、有名なデザイナー、有名な作品について説明できるとともに、自分の作品に反映することができる。また、先人たちのデザインを自分自身でトレースすることで、自分の作品制作技術を向上させることに生かし、また学んだことをレポートにまとめることができる。	時代の背景からデザインを位置づけ、そのデザインがどのように形成されてきたのかということを、根拠を持って、文字や言葉で表現することができる。	様々な時代のデザインがどのように派生し、人々に広まっていったのかということに深い関心をもち、その要因についてより深く学ぼうとする態度が見られる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日本のデザイン史	【原始・古代】 (1)原始時代 (2)飛鳥時代 (3)奈良時代 (4)平安時代 【中世】 (1)鎌倉時代 (2)室町時代 【近世】 (1)安土桃山時代 (2)江戸時代 【近代】 (1)明治・大正時代 (2)昭和時代前期	a:それぞれの時代や文化における、道具や工芸品・美術品、建築様式等についての基本的な知識が身についており、特に服飾に関する表現技法について、実践することができる。 b:学習した表現技法等を用いて、独自のデザインとして表現し、また、そのデザインのコンセプト等について、根拠をもって文章や言葉として表現することができる。 c:それぞれの時代や文化の背景に関して、興味をもって学習し、自身のデザインに取り入れようとする探究的な態度がみられる。	単元テスト レポート	単元テスト レポート ワーク 振り返りシート	取り組み姿勢 振り返りシート
2学期	西洋のデザイン史	【原始・古代】 (1)原始時代 (2)オリエント (3)エーゲ海・ギリシャ (4)ローマ 【中世】 (1)初期キリスト教 (2)ビザンチン (3)ロマネスク (4)ゴシック 【近世】 (1)ルネッサンス (2)バロック (3)ロココと新古典主義 (4)19 世紀	a:それぞれの時代や文化における、道具や工芸品・美術品、建築様式等についての基本的な知識が身についており、特に西洋建築に関する知識や表現技法の要素について学習できている。 b:学習した表現方法等を用いて、独自のデザインとして表現し、また、そのデザインのコンセプト等について、根拠をもって文章や言葉として表現することができる。 c:それぞれの時代や文化の背景に関して、興味をもって学習し、自身のデザインに取り入れようとする探究的な態度がみられる。	単元テスト レポート	単元テスト レポート ワーク 振り返りシート	取り組み姿勢 振り返りシート

3学期	西洋のデザイン史(近代)・現代デザイン	【近代(西洋)】 (1)デザインのはじまり (2)成立と展開 【現代デザイン】 (1)産業とデザイン (2)デザインの諸問題	a:産業革命後の生産技術の大改革とデザイナーという職能の誕生、また戦後の科学技術を背景とした産業発展下のデザインの振興について、その時代背景から理解している。 b:時代の背景から近代・現代のデザインを概観し、自分でそのデザインが現れた根拠について考え、表現できるか。 c:積極的に授業に取り組み、西洋の近代・現代の時代のデザインを理解、または課題を解決しようとする態度がみられる。	単元テスト レポート	単元テスト レポート ワーク 振り返りシート	取り組み姿勢 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度